

けんりつさがみはらこうえん ひろば
県立相模原公園「ともいき広場」づくりニュース

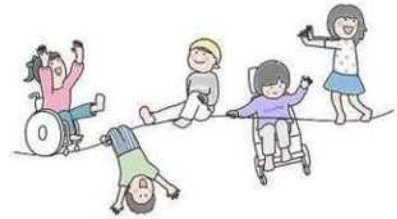
だい こう
第1号

だい かい
ワーキンググループ(第1回)

おこな
を行いました!

けんりつさがみはらこうえん ひろば
県立相模原公園「ともいき広場」づくり ワーキンググループ

けん さがみはらこうえん しょう じょうきょう ていど
 県では、相模原公園に、障がいの状況や程度にかかわらず
 だれ いっしょ あそぶ ゆうぐ ひろば
 誰もが一緒に遊べる遊具のあるインクルーシブな広場※「ともいき
 ひろば
 広場※」を整備することとしました。



こんかい しょう どうじしゃ しえんしゃ けいかく
 今回、障がい当事者や支援者などと、計画を作るところから
 いけん こうかん つく せっち
 意見を交換し、ともに作っていくためにワーキンググループを設置しました。

※インクルーシブは、英語で「すべてを含んだ、包括した」という意味があり、インクルーシブな広場とは、障がいの状況や程度にかかわらず、誰もが一緒に遊べる遊具のある広場です。

※県が実現をめざす「ともに生きる社会かながわ」から「ともいき広場」としました。

かいさいがいよう
◆ 開催概要

にち じ れいわ ねん がつ にち かようび じ じ ぶん
 日時：令和5年7月25日(火曜日) 14時から 16時30分
 ば しょ けんりつさがみはらこうえん けんしゅうしつ
 場所：県立相模原公園 研修室

さんかしゃ ほうじんさがみはらししょうがいじしゃふくしだんたいれんらくきょうざikai
 参加者：・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会

- ・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
- ・県立相模原支援学校PTA
- ・県立相模原支援学校
- ・県立相模原中央支援学校
- ・県立相模原公園指定管理者

だんたい あつ
 6つの団体にお集まりいただき、
 かいめ かいぎ ひら
 1回目の会議を開きましたので、
 がいよう ほうこく
 その概要を報告します。

いちず
◆ 位置図



◆ ワーキングの内容

【県立相模原公園における「ともいき広場」の整備について】

県から、ワーキンググループを設置した目的やスケジュール、広場の整備を予定している場所などについて、説明しました。

【インクルーシブな遊び場の取組事例紹介】

公園の計画を考える会社の人や、公園の遊具を作る会社の人から、インクルーシブな遊び場づくりのポイントや取組事例の紹介を聴き、理解を深めました。

ワーキングの様子



●インクルーシブな遊具の代表例



寝ころんだ状態でも乗れるブランコ



くるまيسここのかいてんゆうぐ
車椅子の子でも乗りやすい回転遊具

【現地調査・意見交換】

広場の整備を予定している場所のほか、駐車場や休憩所、トイレなどの周辺施設も含めて、実際に現地を見て、気づいた点などを意見交換しました。

●主な意見

- ・広場の整備予定地は、周りに樹木があり木陰も多くとても良い。芝生も広く、花もきれい。
- ・障がい者用の駐車場所を増やしてほしい。
- ・日陰にベンチなどの休憩施設を増やしてほしい。
- ・公園の案内板の文字が小さく、わかりづらい。
- ・整備する遊び場までの誘導サインがほしい。
- ・ベンチやスロープに手すりがほしい。
- ・シンボルになる遊具があるとよい。

などのご意見をいただきました。



ちゆうしゃじよう
駐車場



きゆうけいじよ
休憩所



ひろば せいびよていち
広場の整備予定地



かいせつ ようす
解説の様子

◆ 今回のまとめと今後の予定

より多くの方からご意見をお聴きして計画を作っていくため、今後、アンケートや遊具の体験会などを行うこととなりました。次回の会議は、秋頃に開かれる予定です。

◆ 問合せ先

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班 電話 042-784-1111(代表) 令和5年8月

ワーキンググループ(第2回) だい かい を行いました!

◆ 開催概要

にち じ れいわ ねん がつ にち すいようび
日 時：令和5年11月8日(水曜日)

じ ふん じ ふん
13時30分から16時30分

ば しょ けんりつさがみはらこうえん けんしゅうしつ
場 所：県立相模原公園 研修室

- ない よう けっか ほうこく
内 容：
・アンケートの結果報告
・遊具体験会見学
・事例紹介(都立 砧 公園)
・意見交換

さんかしゃ
参加者：

- ・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
- ・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
- ・県立相模原支援学校PTA
- ・県立相模原支援学校
・県立相模原中央支援学校
- ・県立相模原公園指定管理者

【アンケートの結果報告】

しょう どうじしゃ ほごしゃ けんしゅうしや みなさま ゆうぐひろばせいび もと はあく じっし
障がい当事者の保護者や支援者の皆様へ、遊具広場整備に求めていることなどを把握するために実施したアンケートの結果について報告しました。

- ご協力いただいた施設
・県立相模原支援学校
・県立相模原中央支援学校
・児童発達支援センター 青い鳥
・福祉型障がい児入所施設 相模はやぶさ学園



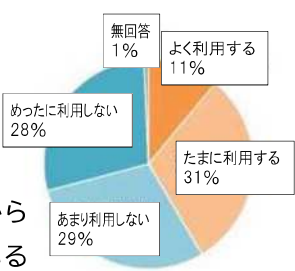
ワーキングの様子

アンケート結果概要 (ご協力いただいた人数 315人)

○子どもの遊具利用実態

〈公園の遊具利用頻度〉

- ▶全体では、約4割の子供が公園の遊具を利用
- ▶年齢別にみると9歳あたりから段々と遊具の利用が減っている



〈あまり公園の遊具を利用しない理由〉

- ▶障がいや原因で遊具を使用しにくい、使用できない
- ▶他の子とのトラブルが心配(順番待ちができない)
- ▶日陰や休憩場所が少ない
- ▶年齢制限(12歳まで)があり、遊具を使えない

○今後の広場整備への要望

〈遊具〉

- ▶肢体不自由など様々な障がいの子供が遊べる遊具や介助しやすい遊具
- ▶大きな子供でも遊べる難易度の低い遊具
- ▶「滑る」「揺れる」「音を楽しむ」遊具

〈その他の施設〉

- ▶木陰や屋根付きの休憩スペース
- ▶障がいへの理解を促す遊び場のルールの掲示
- ▶多動性の子供が外に出ないような外周柵
- ▶大人でも使えるおむつ交換用のベッド

※このアンケートの結果は、県津久井治水センターホームページでもお知らせします。

ゆうぐたいけんかいけんがく いけんこうかん
【遊具体験会見学・意見交換】

11月1日～12日に相模原公園で行われた「だれもが一緒に遊べる遊具の体験会」を見学したほか、遊び場の整備を予定している場所などを確認し、気づいた点などについて、意見交換しました。

おも いけん
●主な意見

- ▶体験会では、遊び方が分かりやすい**単体の遊具が複数設置されているのがよい。**
 - ▶体験会会場は、**外周に柵があり、入口がはっきりしている**ので、遊び場という**雰囲気**が出ていてよい。
 - ▶インクルーシブに配慮しつつも、**わくわく感のある遊び場**になるとよい。
 - ▶遊具を使用できる年齢を**12歳以上も可能と表示**できないか。
 - ▶子供たちが公園に行きたいと思えるような**マスコットの遊具やキャラクター**があるとよい。
 - ▶一般的な遊具とインクルーシブな遊具のどちらもあって**選んで遊べると**、「誰もが遊べる」空間になる。
 - ▶広場に小さな**山やトンネル**を造れば、年齢を問わず**多様な遊び方**ができる。
 - ▶子供の見守りのため、**広場の見通し**は大切。また、**広場の周りに柵**があると安心。
 - ▶風通しがよく、**明るい遊び場**にしてほしい。
 - ▶日よけ、雨よけになる**東屋**などの**休憩施設**がほしい。
 - ▶大人用のおむつ交換ベッドだけの**個室**があると、授乳など**多様に使える**のでよい。
- などのご意見をいただきました。



ゆうぐたいけんかい ようす
 遊具体験会の様子



ゆうぐたいけんかい けんがくじょうきょう
 遊具体験会の見学状況



せいびよていち きぞん
 整備予定地や既存のトイレを再確認

ゆうぐひろば じれいしょうかい とりつ きめたこうえん
【インクルーシブ遊具広場 事例紹介(都立 砧公園)】

とうきょうと きめたこうえん ようす
 東京都の砧公園の様子
 や、都庁の職員と砧公園の
 えんちょう おこな
 園長にヒアリングを行った
 けっか ほうこく
 結果を報告しました。



がいゆうさく かこ みとあし まい
 外周柵に囲まれた見通しの良い
 インクルーシブ遊具広場



まとお すわい かいてんゆうぐ
 外向き座りの回転遊具のため
 車いすから移乗しやすい



いっぴんがた
 一般型とインクルーシブ型の
 両方の座面がある3連ブランコ

こんご よてい
◆今後の予定

アンケートや遊具体験会などでいただいたご意見などを参考にしながら、「ともいき広場」の計画づくりを進めていきます。次回の会議では、「ともいき広場」の整備イメージについて検討する予定です。

といあわ さき
◆問合せ先

かながわけんあつぎとほくじむしょつ く いちすい こうむかこうえんはん でんわ だいひょう れいわ ねん がつ
 神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班 電話 042-784-1111(代表) 令和6年1月

ワーキンググループ(第3回)

おこな
を行いました!

開催概要

日時: 令和6年2月16日(金曜日) 13時30分から 17時

場所: 県立相模原公園 研修室

内容: ・遊具体験会とアンケートの結果について

・施設整備に向けた視点について

・遊具広場全体の整備方針について

・施設の配置計画について

参加者:

・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会

・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

・県立相模原支援学校PTA

・県立相模原支援学校 県立相模原中央支援学校

・県立相模原公園指定管理者

【遊具体験会とアンケートの結果】

体験会には、障がいのあるお子さんをはじめ多くの子どもやそのご家族の参加をいただけたこと、来場者の97%の方に満足いただけたこと、今後の広場整備へのご意見などを数多くいただけたことを報告しました。

遊具体験会

○開催期間 令和5年11月1日~12日

○開催場所 相模原公園 芝生広場

○設置遊具 インクルーシブ遊具 15基

○来場者数 3,657人

○遊具人気投票の結果



※遊具体験会の実施記録及びアンケート結果は、県津久井治水センターホームページで公表しています。

【施設整備に向けた視点】

ワーキンググループでの議論やアンケートのご意見を踏まえ、インクルーシブな遊具広場を整備する上で大切な視点(案)を提示し、意見交換を行いました。

遊具についての視点(案)

- ① 様々な障がいの子が遊べる遊具があること
- ② 幅広い遊びのニーズに対応するため、様々な遊びの選択肢があること
- ③ また来たいと思える個性のある遊び場であること
- ④ 遊びやすさや安全に配慮されていること



①の事例
介助者が一緒に使える遊具



①の事例
感触を楽しめる遊具

施設についての視点(案)

- ⑥ 安全で快適に利用できること
- ⑦ 休憩・休息がしやすいこと
- ⑧ 子どもの見守りがしやすいこと
- ⑨ 遊び場を利用しやすい環境づくり
- ⑩ 遊び場までのアクセスがしやすいこと



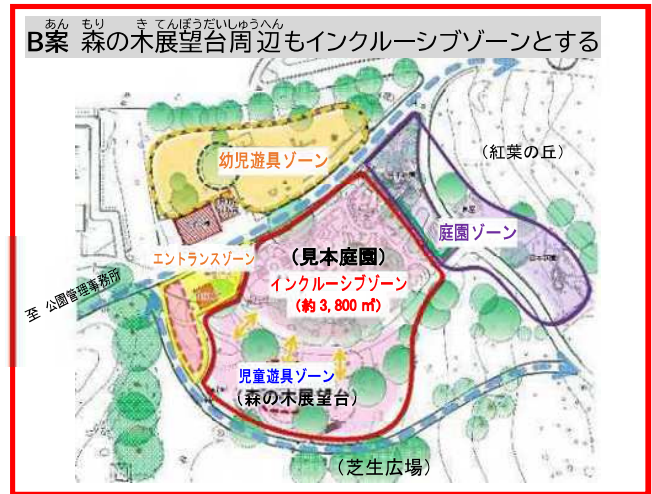
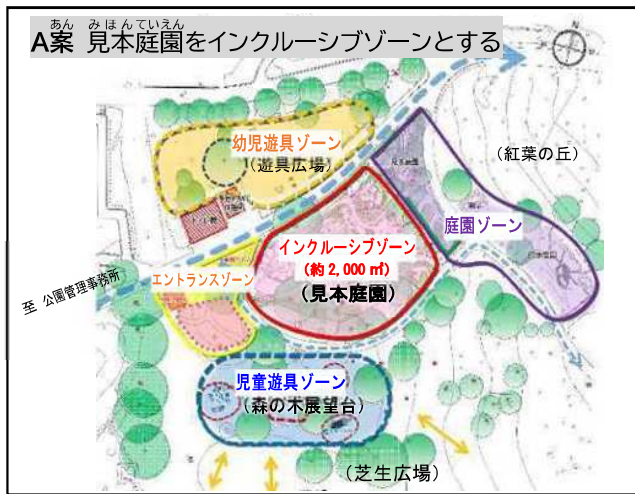
⑥の事例
怪我をしにくい柔らかい舗装

運用についての視点(案)

- ⑫ 誰もが楽しく遊べる場であることを伝え、理解を促す場であること
- ⑫ 障がいのある子が来やすい環境づくり

【遊具広場全体の整備方針】

整備予定地を再度確認して、インクルーシブな遊具等を設置するインクルーシブゾーンを、B案のとおり設定することとしました。



○主な意見

- ▶インクルーシブゾーンは、障がい者のための遊び場ではなく、障がいのある子もいない子も一緒に遊べるように、多様な遊具の中から選んで遊べるようにした方がよい。
- ▶子どもの見守りの視点では、範囲が狭いA案がよいが、障がいのある子どもたちは、それぞれの子のペースで動くので、広い空間にいくつか遊具があって自由に色々遊べるB案の方がよい。
- ▶B案は範囲が広いが、中央付近を園路で区切り、色分けするなどの工夫をすれば、子どもに行動範囲の指示を伝えやすくなり、見守りやすくなる。

などのご意見をいただきました。

【施設の配置計画】

決定したB案をもとに、広場内の遊具や休憩施設の配置の考え方などについて、意見交換を行いました。

○主な意見

- ▶遊び場を見守れるように、休憩施設は何か所も整備した方がよい。
- ▶小さい遊具の近くに休憩施設が配置されていると見守りやすい。
- ▶築山はゾーンの端につくり、全体を見渡せるようにした方がよい。
- ▶揺れる系の遊具は、どんな子どもにも人気があるので、同じところにくつも並べずに、場所を分けて配置した方がよい。

などのご意見をいただきました。



大判の図面上に遊具を模したパーツを置きながら配置を検討しました。

◆今後の予定

ワーキンググループでの検討結果を踏まえ、広場計画の作成を進めていきます。次回のワーキンググループでは、具体的に設置する遊具や施設などについて検討する予定です。

もう少し詳しく
知りたい方は、
こちらをチェック



津久井治水センターHP

◆問合せ先

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター 工務課公園班 電話 042-784-1111(代表)

令和6年3月

ワーキンググループ(第4回)を行いました!

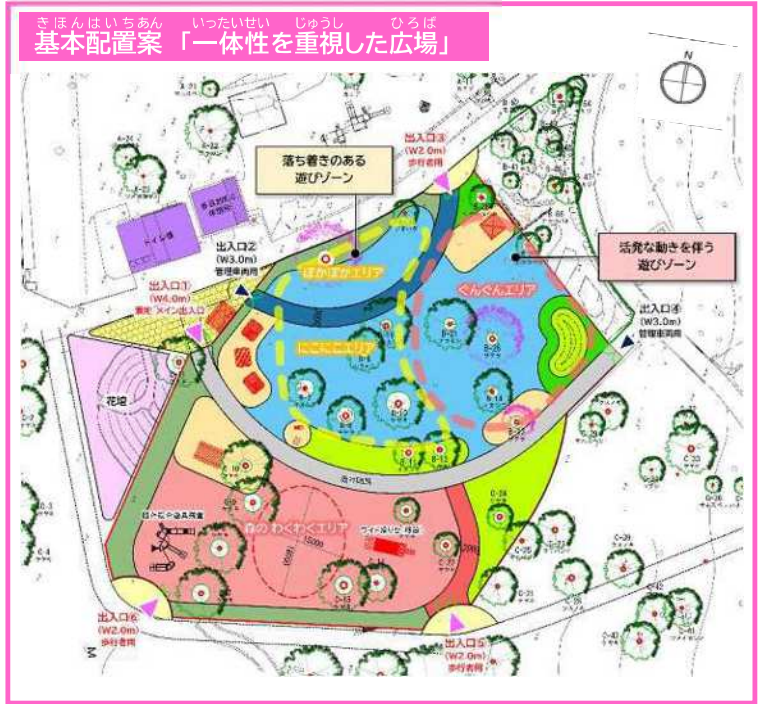
◆ 開催概要

日時：令和6年4月23日(火曜日) 13時30分から16時
 場所：県立相模原公園 研修室
 内容：
 ・基本配置案について
 ・施設配置案(遊具・休憩施設など)について
 ・森の木展望台の後継遊具について

参加者：
 ・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
 ・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
 ・県立相模原支援学校PTA
 ・県立相模原支援学校
 ・県立相模原中央支援学校
 ・県立相模原公園指定管理者

【基本配置案】

前回とりまとめた遊具広場全体の整備方針と、アンケートや遊具体験会でいただいたご意見をもとに作成した基本配置案を提示し、意見交換を行いました。



【基本配置案の考え】

- ①見本庭園、森の木展望台周辺エリアを一体的に整備する。
- ②遊具は中央に配置、休憩施設は子どもたちを見守りやすいよう周囲に分散して配置する。
- ③北側のあそび場は「落ち着きのある遊び」と「活発な動きを伴う遊び」のゾーンに分け、遊具の難易度や形状の違いで遊具配置をする。
 ただし、舗装の色は1色にして視覚的に一体的な広場に見せ、好きな遊具で自由に遊びやすい空間とする。
- ④南側のあそび場は既存の複合遊具を残し、森の木展望台の後継遊具を中心とした児童遊具広場とする。

○主な意見

▶出入口について、公共交通機関を利用し来園した場合、南東方向から来るため、南側にも出入口⑤⑥があるのは便利だと思う。
 などのご意見をいただきました。

【施設配置案(遊具・休憩施設・サイン)】

基本配置案をもとに作成した遊具や休憩施設、サインの配置案について意見交換を行いました。

○主な意見

【遊具について】

- ▶ 車いすに乗ったまま上下に揺れを楽しめる遊具がほしい。
- ▶ 寝たままの姿勢でも感触や視覚で楽しめる遊具がほしい。
- ▶ じっくり遊びたい子やスピーディーに連続して遊べないタイプの子は、複合遊具よりも、単体遊具の方が遊びやすい。
- ▶ 円形に連結しているブランコは、順番待ちをしやすと思う。
- ▶ ブランコを複数設置する場合でも座面タイプは統一した方がよい。

【休憩施設について】

- ▶ 屋根のない施設やパーゴラでは日除け、雨避けが難しいため、四阿など日除け、雨避けができる施設がよい。
- ▶ 地面に座るのは、障がいのある子や支援者の負担になるため、腰かけたり、寝転がることができる縁台や座面が広いベンチがあると良い。
- ▶ 軽い飲食程度なので、テーブルは必要ない。
- ▶ 車いすは、個々に合わせて座りやすく調整されているので、車いす利用者がベンチに座ることはない。

【外周柵・門扉について】

- ▶ 外周柵の存在を認識でき、乗り越えづらい高さ(1.2m程度)がほしい。
 - ▶ 圧迫感がなく、雰囲気柔らかい、あそび場感のある柵がよい。
 - ▶ 門扉を常に開ける場合、出入口近くに壁を置くなど飛び出し防止の対策があると安心感がある。また、出入口を認識しやすいように目印となるゲートは必要だと思う。
- などのご意見をいただきました。



車いすに乗ったまま遊ぶ遊具や視覚で楽しめる遊具の例



円形ブランコ



雨避けができる四阿

座面が広いベンチ



あそび場感のある柵のイメージ

【森の木展望台の後継遊具】

現在、使用を禁止している森の木展望台の更新について意見を交換しました。

○主な意見

- ▶ 背の高い遊具より平面的で横に広がるのある遊具の方が補助もしやすい。
 - ▶ 森の木展望台は、大木と同じ高さまで登れるところが魅力の一つだった。新しい遊具もある程度の高さのある遊具がよい。
 - ▶ 車いすは頂上まで登れなくてもよいが、途中までは登れるとよい。
 - ▶ 「登る」だけでなく、遊具の下から高い遊具を見上げて楽しむこともできる。
- などのご意見をいただきました。



意見交換の様子

◆今後の予定

これまでのワーキンググループでの検討結果を踏まえ、次回は具体的な遊具や公園施設をまとめた「ともいき広場整備方針」を定めていきます。

もう少し詳しく知りたい方は、こちらもチェック



津久井治水センターHP

せいびけいかく
【整備計画】

せいびほうしん さくせい けいかくへいめんず くたいてき けいかく せつめい おこな
整備方針をもとに作成した計画平面図をもとに具体的な計画の説明を行いました。



ぞうせいけいかく
【造成計画】

- ・保存する樹木や既存の園路の高さを考慮し、既存地形になるべく合わせた造成とする。
- ・[にこにこエリア] と [ぐんぐんエリア] の間に緩やかな高低差を設け、地形の変化も楽しめるようにする。

じゅもくけいかく
【樹木計画】

- ・あそび場として見通しを確保しつつ、なるべく大きな樹木は保存し、木陰を創出する。

ほそうけいかく
【舗装計画】

- ・転倒や車いすの通行性などに配慮し、ゴムチップ舗装とする。
- ・北側と南側の広場や、休憩ゾーンで舗装の色を変えることで、エリアを認識しやすくする。

ゆうぐはいちけいかく
【遊具配置計画】

- 北側あそび場（ぼかぼか、にこにこ、ぐんぐんエリア）
 - ・各エリアコンセプトに合う単体遊具を配置する。
 - ・車いすに乗ったまま楽しめる遊具も配置する。
- 南側あそび場（森のわくわくエリア）
 - ・森の木展望台を撤去し、跡地に大型の遊具を設け、既存の複合遊具とワイド滑り台は残す。



しせつはいちけいかく
【施設配置計画】

- ・飛び出し防止などのため、外周部に柵を設置し、出入口は、認識しやすいようなゲートを設ける。
- ・広場外周部に屋根付きの休憩施設や芝生広場を設け、見守りをしやすくする。
- ・広場内の施設位置や遊び方がわかるサインを設置する。

しせつはいち ゆうぐ
【施設配置(遊具)】

かく あ ゆうぐ せんてい しゆるい ゆうぐ いけんこうかん おこな
各エリアのコンセプトに合う遊具として選定した15種類の遊具について意見交換を行いました。

【ぼかぼかエリア】(6基) ※⑤のみ2基設置

- ・動物やカラフルな見た目を楽しめる … ①、②
- ・ペダルを押す簡単な動作で音を楽しめる … ③
- ・上面を素手で叩くという簡単な動作で音を楽しめる … ④
- ・円盤を回してマラカスのような音を楽しめる … ⑤



①カバくん ②ちびっこマウンテン ③テモアシモ ④ハンドパン ⑤ローラーマラカス

【ぐんぐんエリア】(4基)

- ・車いすのまま、跳ねる、回るを楽しめる … ⑥、⑦
- ・ハンモックタイプの座面で揺れを楽しめる … ⑧
- ・斜面を登ったり、滑ったり自由を楽しめる … ⑨



⑥トランポリン ⑦アクセシブルウィール ⑧円形4連プランコ ⑨築山

【にこにこエリア】(6基)

- ・テーブル型の砂場で、砂の感触を楽しめる … ⑩
- ・内向き、外向きどちらでも回転を楽しめる … ⑪
- ・3人乗りシーソーで上下の揺れを楽しめる … ⑫
- ・階段ではなく腕力で登ってすべる遊びを楽しめる … ⑬
- ・7色のアーチを並べたトンネルで走って楽しむ … ⑭
- ・様々な大きさのボールに乗りバランスを楽しむ … ⑮



⑩花びらサンドテーブル+砂場 ⑪くるくるテラス ⑫トリオピーク ⑬ウェブワーム ⑭レインボートンネル ⑮ゴムチップボール

おも いけん
○主な意見 ▶車いすのまま利用できることや遊び方はどこに示すのか → 遊具ごとにサインを設置

しせつはいち きゅうけいしせつなど
【施設配置(休憩施設等)】

がいしゅうさく
【外周柵】

- ・柵の存在を認識しやすい高さ(H1.2m)で、背景に溶け込みすぎない白色とする。
- ・柵の上部が波型の形にすることで、あそび場の楽しい雰囲気演出する。



メインゲート

もんび
【ゲート・門扉】

- ・ゲートの形状は⑭レインボートンネルとデザインを統一したアーチ形状とする。
- ・メインゲートは虹色、サブゲートは単色でそれぞれ色を変え、区別する。



森のシェルター

きゅうけいしせつ
【休憩施設】

- ・シェルターは、森の木をイメージした形状とする。
- ・腰かけたり、寝転んだり、荷物を置ける幅広い縁台を設ける。

てあしあらば
【手足洗い場】

- ・広場内にユニバーサル型の手足洗い場を設ける。



手足洗い場 (ユニバーサル型)

おも いけん
○主な意見

- ▶森の木の形状をしたシェルターはかわいい。
- ▶引率側の視点としては、多少の雨をしのげ、子ども達を見守れる場所があればよい。
- ▶大木を囲うような円形のベンチがあるが、全ての木にあるのか → 全てではない(通路が狭くなるため)

【施設配置(サイン)】

ひろばないのほかに、ひろば けいろ さいん けいかく ばんめんないよう いてんこうかん
広場内のほか、広場までの経路についてもサイン配置を計画し、版面内容などについて意見交換しました。

【あそび場までの誘導サイン】

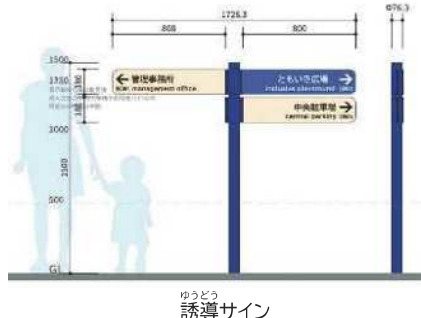
- ちゅうおうちゅうしゃじょう ちゅうどう ふうそく かしよ くるま
・中央駐車場からの誘導サインが不足しているため、2箇所ある車いす区画からの動線を考慮したサインを設置する。

【あそび場内のサイン】

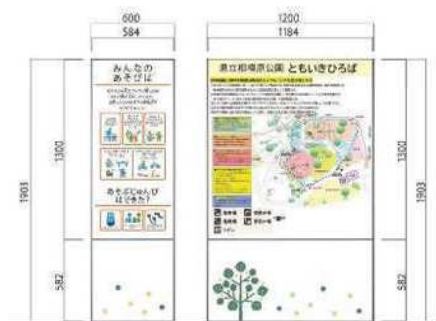
- ゆうぐ ばしょ せいび しめ そうごうあんない せつち
・遊具の場所や整備コンセプトを示す総合案内サインを設置する。
- ちゅういじこう しめ あんない りようしゃかん そうごりかい うなが
・注意事項を示すルール案内サインを設け、利用者間の相互理解を促す。
- ゆうぐ つか かた しめ ゆうぐせつめい かくゆうぐ もう
・遊具の使い方などを示す遊具説明サインを各遊具に設ける。

【あそび場内の情報発信】

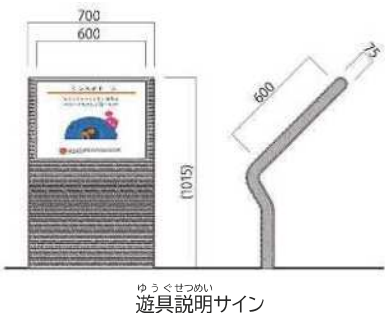
- じぜん ひろば しせつないよう じょうほう かくにん
・事前に「ともいき広場」の施設内容やルールなどの情報を確認できるよう、ホームページに掲載する。



誘導サイン



総合案内サイン



遊具説明サイン

○主な意見

- ▶「ともいき広場」のコンセプトは、メインのところにおきやすい。
- ▶あそび場のルール説明は、肯定的な表現をするというのはよい。
- ▶ルール案内サインは、少ないルールをしっかりと守る形がよい。
- ▶バスを利用して来園する利用者に向けた誘導サインもあるとよい。
- ▶視覚障がいの子も、遊び方を自分で確認したいと思う。
- ▶QRコードを読み込むことで、音声説明してくれる仕組みがあるとよい。
- ▶ホームページ等で事前に遊具の遊び方やルールを学習できるとよい。

などのご意見をいただきました。

【庭園エリア】

ていえん せいび ぐばん しょくさい あん あんさくせい しょうかい
庭園として整備する部分について、植栽イメージ案を2案作成し、紹介しました。

【森の木展望台の後継遊具】

ゆうぐ メーカー オリジナル遊具の提案を募る際の配慮事項の確認を行いました。

【配慮事項】

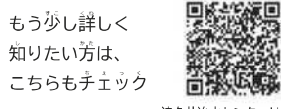
- ・森の木展望台の後継と感じられること
- ・展望、眺望を楽しめること
- ・障がいのある子どもも楽しめるものであること
- ・ともいき広場の考えに沿ったものであること
- ・多様な遊びを多様な子どもが楽しめること



ワーキングの様子

◆今後の予定

じかい やく ねんかん けんとうけつか ふ さいしゅうてき
次回は約1年間の検討結果を踏まえた、最終的な「ともいき広場」の整備計画図を提示します。



もう少し詳しく
知りたい方は、
こちらまでエック

津久井治水センターHP

けんりつさがみはらこうえん ひろば 県立相模原公園「ともいき広場」づくりニュース

だい ごう
第5号

ワーキンググループ(第5回) を行いました!

◆開催概要

にちじ れいわ ねん がつ にち すいようび じ ふん じ
日時：令和6年8月7日(水曜日) 13時30分から16時

ばしょ つく いちすい だいかいぎしつ
場所：津久井治水センター 大会議室

さんかしゃ ほうじんさがみはらしょうがいじしゆふくしだんたいれんらくきょうぎかい
参加者：・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会

- ・NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会
- ・県立相模原支援学校PTA
- ・県立相模原支援学校
- ・県立相模原中央支援学校
- ・県立相模原公園指定管理者

ないよう ひろばせいびほうしん せいびけいかく
内容：・ともいき広場整備方針、整備計画について

- ・遊具・施設要望調査について
- ・施設配置について
- ・庭園エリアについて
- ・森の木展望台の後継遊具について
- ・ともいき広場の事業周知について

【ともいき広場整備方針】

ぜんかい ていじ きほんはいちあん いただ いけん さくせい せいびほうしん せつめい おこな
前回、提示した基本配置案とこれまで頂いたご意見をもとに作成した整備方針の説明を行いました。

◎ゾーニング方針

- ・既存の幼児用遊具広場、見本庭園、森の木展望台周辺を一体的に、誰もが一緒に遊べる「ともいき広場」として計画する。
- ・「ともいき広場」と南側の芝生広場の境に園路を新設する。



◎施設整備などの方針

- 【遊具についての主な方針】
- ・障がいがある子が遊具の利用が難しかった子に配慮した遊具があること。
- ・様々な遊びの選択肢(種類や難易度)があること。

【施設についての主な方針】

- ・車いすの通行などに配慮した安全で快適な舗装であること。

【運用についての主な方針】

- ・誰もが楽しく遊べる場であることを伝え、理解を促す場であること。

◎各遊具エリアのコンセプト

- 【すくすくエリア】乳幼児、幼児などを対象とした遊具のエリア
- 【ほかほかエリア】音や形を楽しむ遊具を中心としたエリア
- 【にこにこエリア】複数人で楽しく遊べる遊具を中心としたエリア
- 【ぐんぐんエリア】活発な動きを伴う遊具を中心としたエリア
- 【森のわくわくエリア】チャレンジ性の高い遊具を中心としたエリア